

2026年3月期 第2四半期(中間期)決算短信(日本基準)(連結)

2025年11月13日

上場会社名 ビジネス・ワンホールディングス株式会社
 コード番号 4827 URL <https://www.businessone-hd.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 尾崎 朝樹
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役専務管理本部長 (氏名) 松元 誠二郎
 半期報告書提出予定日 2025年11月14日
 TEL 092-534-7210
 配当支払開始予定日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 福
 (百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第2四半期(中間期)の連結業績(2025年4月1日～2025年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	8,563	19.7	898	35.5	803	44.4	548	38.3
2025年3月期中間期	7,154	8.1	663	28.9	556	35.2	396	31.6

(注)包括利益 2026年3月期中間期 572百万円 (42.7%) 2025年3月期中間期 401百万円 (-31.6%)

	1株当たり中間純利益 円 銭	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益	
		円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	132.17		
2025年3月期中間期	95.54		

(2) 連結財政状態

	総資産 百万円	純資産 百万円	自己資本比率 %
2026年3月期中間期	30,392	6,633	20.8
2025年3月期	30,554	6,101	19.1

(参考)自己資本 2026年3月期中間期 6,328百万円 2025年3月期 5,822百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末 円 銭	第2四半期末 円 銭	第3四半期末 円 銭	期末 円 銭	合計 円 銭
2025年3月期		0.00		10.00	10.00
2026年3月期		0.00			
2026年3月期(予想)				10.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	17,000	5.6	1,600	9.5	1,300	3.2	850	2.6

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無

新規 社 (社名)

、 除外 社 (社名)

(注)特定子会社の異動に該当しない子会社の異動につきましては、添付資料P.10「(4)中間連結財務諸表に関する注記事項」(当中間連結累計期間における重要な子会社の異動)をご覧ください。

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期中間期	4,148,900 株	2025年3月期	4,148,900 株
期末自己株式数	2026年3月期中間期	株	2025年3月期	株
期中平均株式数(中間期)	2026年3月期中間期	4,148,900 株	2025年3月期中間期	4,148,900 株

第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(4)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 当中間期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(当中間連結会計期間における重要な子会社の異動)	10
(会計方針の変更に関する注記)	10
(セグメント情報等の注記)	11
(重要な後発事象)	13

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の拡大を背景に、設備投資や生産活動に持ち直しの動きがみられ、緩やかな回復基調で推移しております。足元では各種政策の効果もあり、景気の回復継続が期待される状況にありますが、米国の通商政策の動向や地政学リスクの長期化、原材料・エネルギー価格の高騰、金融資本市場の変動等、海外経済の下振れが国内景気を下押しするリスクとなっており、先行きについては依然として不透明な状況が続いております。加えて、物価上昇の継続が消費者マインドの低下を通じて個人消費に及ぼす影響や、為替・金利の変動が企業活動に与える影響なども懸念される状況にあります。

このような経済環境のもと、当社グループは、収益構造の強化を目的として、各事業部門における収益管理の徹底を図るとともに、外部環境の変化を的確に捉えた事業運営に努め、グループ全体の業績向上に向けた取り組みを推進してまいりました。

その結果、当中間連結会計期間の業績は、売上高8,563,048千円（前年同期比19.7%増）、営業利益898,255千円（同35.5%増）、経常利益803,425千円（同44.4%増）、親会社株主に帰属する中間純利益548,342千円（同38.3%増）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

①不動産事業

低採算の一部販売用不動産在庫の先行売却を積極的に継続推進しております。引き続き在庫回転期間の短縮と良質な在庫資産の取得に努めてまいります。

当中間連結会計期間における不動産事業の売上高は5,061,435千円（前年同期比1.1%増）、セグメント利益は480,088千円（同18.4%増）となりました。

②マンション管理事業

分譲マンションを中心としたマンション管理事業を行っております。今後も、管理棟数・管理戸数の増加による企業基盤の強化を図るとともに、高品質なサービスの提供に努めてまいります。

当中間連結会計期間におけるマンション管理事業の売上高は1,168,978千円（前年同期比18.8%増）、セグメント利益は63,865千円（前年同期はセグメント損失999千円）となりました。

③賃貸事業

当社グループが保有する賃貸等不動産による賃料収入事業と、外部オーナー向けマンション管理物件の賃貸仲介事業など、グループの営業資産・情報力を基にシナジー効果を最大限に発揮させ、収益につなげる事業を拡大して行っています。

当中間連結会計期間における賃貸事業の売上高は696,257千円（前年同期比8.0%増）、セグメント利益は262,141千円（同9.0%増）となりました。

④家具・家電レンタル事業

賃貸住宅入居者向けの他、賃貸物件オーナー・法人向けに家具・家電のレンタル事業を展開しております。

当中間連結会計期間における家具・家電レンタル事業の売上高は388,253千円（前年同期比10.9%増）、年度末をまたぐ繁忙期対応の費用負担の影響からセグメント利益は8,880千円（同25.6%減）と増収減益となりました。

⑤ソフトウェア事業

パッケージソフト販売部門において、商品ラインナップを拡充・強化し、顧客ニーズに合わせた販売活動を推進しております。また顧客サービスを充実させるべくパッケージソフトの操作指導（スクール）やサポートセンターによる既存ユーザーへの電話サポート、バージョンアップ案内などの保守分野における企画・営業活動を展開することで、複数年契約や保守契約などの収益基盤の拡充を図っております。

当中間連結会計期間におけるソフトウェア事業の売上高は119,305千円（前年同期比1.0%増）となりましたが、売上構成の変化によりセグメント利益30,838千円（同8.7%減）となりました。

⑥ファイナンス事業

事業者向け不動産担保貸付を主として行っております。

当中間連結会計期間におけるファイナンス事業の売上高は205,490千円（前年同期比24.6%増）、セグメント利益は99,090千円（前年同期比73.0%増）となりました。

⑦建設事業

建設事業においては、当社が昨年10月に連結子会社としました株式会社ナカケンの建築設計・施工管理ノウハウを活用し、グループ内の建設関連ニーズへの対応力強化を図っております。

当中間連結会計期間における建設事業の売上高は1,113,988千円、セグメント利益は29,874千円となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

(資産)

当中間連結会計期間末における流動資産は17,267,932千円となり、前連結会計年度末に比べ93,638千円減少いたしました。これは主に営業貸付金が517,367千円増加し販売用不動産が814,908千円減少したことによるものであります。固定資産は13,124,922千円となり、前連結会計年度末に比べ68,078千円減少いたしました。これは主に建物及び構築物が152,591千円減少し、土地が115,619千円増加したことによるものであります。

この結果、資産合計は30,392,854千円となり、前連結会計年度末に比べ161,716千円減少いたしました。

(負債)

当中間連結会計期間末における流動負債は14,965,023千円となり、前連結会計年度末に比べ947,025千円減少いたしました。これは主に1年内返済予定の長期借入金が757,889千円減少し、賞与引当金が72,000千円減少したことによるものであります。固定負債は8,794,744千円となり、前連結会計年度末に比べ253,985千円増加いたしました。これは主に社債が150,000千円、長期借入金が96,944千円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は23,759,768千円となり、前連結会計年度末に比べ693,040千円減少いたしました。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産合計は6,633,086千円となり、前連結会計年度末に比べ531,324千円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する中間純利益548,342千円によるものであります。

この結果、自己資本比率は20.8%（前連結会計年度末は19.1%）となりました。

(3) 当中間期のキャッシュ・フローの概況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は4,040,789千円（前年同期3,354,043千円）となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、取得した資金は863,622千円（前年同期は613,535千円の取得）となりました。これは、主に税金等調整前中間純利益807,884千円、減価償却費299,871千円、棚卸資産の減少799,992千円があった一方で、営業貸付金の増加517,367千円、法人税等の支払264,571千円があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は279,764千円（前年同期は691,219千円の使用）となりました。これは、主に有形固定資産の取得による支出が285,417千円あったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は445,926千円（前年同期は146,633千円の使用）となりました。これは、主に長期借入金の返済による支出が1,303,995千円あった一方で、新たな長期借入れによる収入が643,000千円、短期借入金の純増加額が112,400千円あったことによるものであります。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、当中間連結会計期間の連結業績は、概ね計画どおり推移しており、2025年5月14日の「2025年3月期 決算短信」で公表しました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流动資産		
現金及び預金	3,902,394	4,040,789
受取手形	9,306	2,732
売掛金	317,498	371,476
販売用不動産	7,901,787	7,086,879
未成工事支出金	89,198	128,926
原材料及び貯蔵品	2,015	2,464
営業貸付金	5,004,630	5,521,997
その他	235,687	225,142
貸倒引当金	△100,947	△112,476
流动資産合計	17,361,570	17,267,932
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,729,903	4,577,311
土地	7,286,149	7,401,768
その他	445,509	443,626
有形固定資産合計	12,461,563	12,422,707
無形固定資産		
のれん	44,124	37,648
その他	17,583	24,878
無形固定資産合計	61,708	62,527
投資その他の資産		
投資有価証券	98,886	87,812
繰延税金資産	312,496	294,953
破産更生債権等	206,000	212,999
その他	116,247	125,320
貸倒引当金	△63,900	△81,399
投資その他の資産合計	669,729	639,687
固定資産合計	13,193,000	13,124,922
資産合計	30,554,571	30,392,854

(単位 : 千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	192,941	272,732
短期借入金	12,398,063	12,510,463
1年内返済予定の長期借入金	1,649,078	891,189
リース債務	4,576	2,721
未払法人税等	281,068	242,053
賞与引当金	156,000	84,000
その他	1,230,321	961,864
流動負債合計	15,912,049	14,965,023
固定負債		
社債	—	150,000
長期借入金	8,366,568	8,463,512
リース債務	8,789	7,515
繰延税金負債	11,472	15,560
その他	153,930	158,155
固定負債合計	8,540,759	8,794,744
負債合計	24,452,809	23,759,768
純資産の部		
株主資本		
資本金	436,034	436,034
利益剰余金	5,369,661	5,876,870
株主資本合計	5,805,695	6,312,904
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	17,215	15,635
その他の包括利益累計額合計	17,215	15,635
非支配株主持分	278,850	304,546
純資産合計	6,101,762	6,633,086
負債純資産合計	30,554,571	30,392,854

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	7,154,619	8,563,048
売上原価	5,405,290	6,402,946
売上総利益	1,749,329	2,160,102
販売費及び一般管理費	1,086,328	1,261,846
営業利益	663,000	898,255
営業外収益		
受取利息	2,522	2,989
受取配当金	1,717	1,277
投資有価証券売却益	—	2,057
保険解約返戻金	—	8,000
受取保険金	4,474	3,006
その他	2,296	20,592
営業外収益合計	11,010	37,924
営業外費用		
支払利息	113,834	124,589
社債発行費	—	2,713
その他	3,957	5,451
営業外費用合計	117,791	132,754
経常利益	556,219	803,425
特別利益		
固定資産売却益	—	4,459
特別利益合計	—	4,459
特別損失		
固定資産除却損	348	—
関係会社株式売却損	3,575	—
特別損失合計	3,923	—
税金等調整前中間純利益	552,295	807,884
法人税、住民税及び事業税	162,067	225,538
法人税等還付税額	—	△13,278
法人税等調整額	△6,158	21,638
法人税等合計	155,908	233,898
中間純利益	396,387	573,985
非支配株主に帰属する中間純利益	—	25,643
親会社株主に帰属する中間純利益	396,387	548,342

(中間連結包括利益計算書)

(単位 : 千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	396,387	573,985
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,662	△1,527
その他の包括利益合計	4,662	△1,527
中間包括利益	401,049	572,457
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	401,049	546,762
非支配株主に係る中間包括利益	—	25,695

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	552,295	807,884
減価償却費	248,337	299,871
のれん償却額	19,359	6,476
賞与引当金の増減額(△は減少)	△77,212	△72,000
貸倒引当金の増減額(△は減少)	31,283	29,028
受取利息及び受取配当金	△4,240	△4,267
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△2,057
保険解約返戻金	—	△8,000
受取保険金	△4,474	△3,006
支払利息及び社債利息	113,834	124,589
社債発行費	—	2,713
固定資産売却損益(△は益)	—	△4,459
固定資産除却損	348	—
関係会社株式売却損益(△は益)	3,575	—
売上債権の増減額(△は増加)	△51,762	△47,404
棚卸資産の増減額(△は増加)	△89,692	799,922
営業貸付金の増減額(△は増加)	347,450	△517,367
破産更生債権等の増減額(△は増加)	△203,000	△6,999
前渡金の増減額(△は増加)	10,779	23,274
仕入債務の増減額(△は減少)	21,209	79,791
未払消費税等の増減額(△は減少)	△25,852	△69,147
前受金の増減額(△は減少)	6,165	△214,205
前受収益の増減額(△は減少)	△10,381	49,228
未払金の増減額(△は減少)	17,005	△35,089
その他	1,464	△583
小計	906,492	1,238,192
利息及び配当金の受取額	4,240	2,015
利息の支払額	△109,923	△136,298
保険金の受取額	4,474	11,006
法人税等の還付額	—	13,278
法人税等の支払額	△191,748	△264,571
営業活動によるキャッシュ・フロー	613,535	863,622
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△703,628	△285,417
有形固定資産の売却による収入	—	7,167
無形固定資産の取得による支出	△360	△8,751
長期前払費用の取得による支出	△4,852	△3,249
投資有価証券の取得による支出	—	△392
投資有価証券の売却による収入	—	11,987
貸付金の回収による収入	892	—
敷金及び保証金の差入による支出	△951	△1,270
敷金及び保証金の回収による収入	2,321	161
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	15,359	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△691,219	△279,764

(単位 : 千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△509,993	112,400
長期借入れによる収入	860,291	643,000
長期借入金の返済による支出	△452,991	△1,303,995
社債の発行による収入	—	147,286
リース債務の返済による支出	△2,450	△3,128
配当金の支払額	△41,489	△41,489
財務活動によるキャッシュ・フロー	△146,633	△445,926
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△224,316	137,931
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	464
現金及び現金同等物の期首残高	3,578,359	3,902,394
現金及び現金同等物の中間期末残高	3,354,043	4,040,789

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当中間連結会計期間における重要な子会社の異動)

特定子会社の異動には該当しておりませんが、中間連結会計期間において非連結子会社でありました株式会社ビジネス・ワンサンテは重要性が増したため、当中間連結会計期間より連結の範囲に含めております。

(会計方針の変更に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間（自2024年4月1日 至2024年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント						
	不動産事業	マンション 管理事業	賃貸事業	家具・家電 レンタル事業	ソフトウェア 事業	ファイナンス 事業	建設事業
売上高							
一時点で移転される財	4,984,602	236,519	61,698	9,073	76,728	39,212	—
一定の期間にわたり移転される財	1,800	747,077	49,897	—	41,388	2,477	—
顧客との契約から生じる収益	4,986,402	983,597	111,596	9,073	118,117	41,689	—
その他の収益	19,199	—	533,296	341,008	—	123,250	—
外部顧客への売上高	4,889,943	860,413	595,140	348,756	111,761	161,909	—
セグメント間の内部売上高又は振替高	115,658	123,183	49,753	1,324	6,355	3,031	—
計	5,005,601	983,597	644,893	350,081	118,117	164,940	—
セグメント利益又は損失(△)	405,362	△999	240,450	11,936	33,760	57,278	—

(単位：千円)

	報告セグメント	その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	中間連結損益計算書 計上額(注3)
	計				
売上高					
一時点で移転される財	5,407,834	197,744	5,605,579	△185,861	5,419,717
一定の期間にわたり移転される財	842,641	—	842,641	△78,094	764,546
顧客との契約から生じる収益	6,250,475	197,744	6,448,220	△263,956	6,184,263
その他の収益	1,016,755	—	1,016,755	△46,400	970,355
外部顧客への売上高	6,967,924	186,694	7,154,619	—	7,154,619
セグメント間の内部売上高又は振替高	299,307	11,050	310,357	△310,357	—
計	7,267,231	197,744	7,464,976	△310,357	7,154,619
セグメント利益又は損失(△)	747,789	21,490	769,279	△106,279	663,000

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その他附帯事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△106,279千円は、セグメント間取引消去額△4,515円、のれんの償却額△19,359千円、全社損益△82,404千円を含んでおります。全社損益は、当社におけるグループ会社からの経営指導料及びグループ管理に係る費用であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4 その他の収益は「金融商品に関する会計基準」に基づく利息収入及び「リース取引に関する会計基準」に基づく賃貸料収入等であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当中間連結会計期間(自2025年4月1日至2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント						
	不動産事業	マンション 管理事業	賃貸事業	家具・家電 レンタル事業	ソフトウェア 事業	ファイナンス 事業	建設事業
売上高							
一時点で移転される財	5,037,376	341,408	52,225	7,097	76,652	61,360	1,013,623
一定の期間にわたり移転 される財	1,800	827,569	51,165	—	42,652	—	63,531
顧客との契約から生じる 収益	5,039,176	1,168,978	103,390	7,097	119,305	61,360	1,077,154
その他の収益	22,258	—	592,867	381,156	—	144,130	36,833
外部顧客への売上高	4,987,671	1,055,814	641,945	388,141	118,582	202,747	1,046,884
セグメント間の内部売上 高又は振替高	73,763	113,163	54,312	112	723	2,742	67,103
計	5,061,435	1,168,978	696,257	388,253	119,305	205,490	1,113,988
セグメント利益 又は損失(△)	480,088	63,865	262,141	8,880	30,838	99,090	29,874

(単位:千円)

	報告セグメント	その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	中間連結損益計算書 計上額(注3)
	計				
売上高					
一時点で移転される財	6,589,743	94,049	6,683,793	△185,059	6,498,733
一定の期間にわたり移転 される財	986,718	21,392	1,008,110	△73,234	934,875
顧客との契約から生じる 収益	7,576,461	115,441	7,691,903	△258,294	7,433,609
その他の収益	1,177,246	5,819	1,183,066	△53,626	1,129,439
外部顧客への売上高	8,441,787	121,261	8,563,048	—	8,563,048
セグメント間の内部売上 高又は振替高	311,921	—	311,921	△311,921	—
計	8,753,708	121,261	8,874,969	△311,921	8,563,048
セグメント利益 又は損失(△)	974,779	27,034	1,001,813	△103,558	898,255

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その他附帯事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△103,558千円は、セグメント間取引消去額△2,471千円、のれん償却額△6,476千円、その他の調整額4,299千円、全社損益△98,910千円を含んでおります。全社損益は、当社におけるグループ会社からの経営指導料及びグループ管理に係る費用であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4 その他の収益は「金融商品に関する会計基準」に基づく利息収入及び「リース取引に関する会計基準」に基づく賃貸料収入等であります。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前第3四半期連結会計期間において、株式会社ナカケンの株式取得により子会社化したため、連結の範囲に含めています。これに伴い、前第3四半期連結会計期間より「建設事業」を新たに報告セグメントに追加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。